

各関係機関長
各病害虫防除員様

宮崎県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察特殊報第1号について
平成15年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

平成15年度病害虫発生予察特殊報第1号

1 病害虫名：トルコギキョウ葉巻病（仮称）

2 作物名：トルコギキョウ

3 病原ウイルス：トマト黄化葉巻ウイルス
Tomato yellow leaf curl virus : TYLCV)

4 発生概況

平成15年7月上旬、宮崎市の雨よけ栽培のトルコギキョウ（品種：プラチナハイカラーレッド、エクセルスカーレット）に、株の萎縮巻葉を生じる症状が認められた。宮崎県総合農業試験場生物環境部による診断の結果、トルコギキョウ葉巻病（仮称）であることが同定され、本県での発生初めて確認された。既に本病原ウイルスによるトマト黄化葉巻病は、平成13年11月に発生を確認、特殊報を発表している。

5 病徴

発病部位より上は節間が縮み、萎縮する。葉は小型化し、葉脈が隆起し、表面を内側にして巻く。これらの症状により商品価値が著しく低下する。

6 伝染方法

本ウイルスはトマト黄化葉巻病の病原ウイルスと同一であり、シルバーリーフコナジラミにより伝搬される。なお、作業管理による汁液伝染、種子伝染、土壌伝染およびアブラムシによる伝搬はない。

7 TYLCVに感染する可能性のある植物

ナス科：トマト、タバコ、チョウセンアサガオ、オオセンナリ、イヌホウズキ、ピーマン（無病徴感染）、ジャガイモ（無病徴感染）
リンドウ科：トルコギキョウ
マメ科：インゲン、ヒラマメ
アオイ科：ウサギアオイ
トウダイグサ科：エノキグサ、ショウジョウソウ
ナデシコ科：ウシハコベ

8 防除対策

- 1) 育苗期からシルバーリーフコナジラミの防除を徹底する。
- 2) 発病株は二次伝染源となるため、見つけ次第に抜き取り、放置せずに埋没処分を行う。
- 3) 施設開口部に防虫網、寒冷紗等を用いて、施設内へのシルバーリーフコナジラミの侵入を防止する。
- 4) ほ場周辺の雑草はシルバーリーフコナジラミの寄主植物およびTYLCVの伝染源になるため、除草を徹底する。
- 5) 施設栽培では栽培終了後に蒸し込み等を行い、シルバーリーフコナジラミを死滅させ、施設外への分散を防ぐ。
- 6) 本病は非常に蔓延する速度が速いことから、以上の対策は発生農家のみでなく、地域全体で実施することが重要である。
- 7) 疑わしい症状がみられた場合は、最寄りの農業改良普及センター、または病害虫防除所に連絡する。

